

第五十回

熊本城（熊本県熊本市）

「櫓」主宰 江崎 紀和子 選

熊本市賞

城を背に復興願ふ桜咲く

熊本県熊本市 山崎 成潤

特選三句

修復の石垣に舞う花吹雪

東京都中央区 中村 千嘉代

熊本の七年思ふ春の月

熊本県熊本市 上田 幸子

水盤や音響かせて椿落つ

熊本県熊本市 角田 舞句

投句総数 四十五句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

奈良・斑鳩町賞

へつつひに火と水の護符寒明ける

奈良県天理市 松田 吉上

特選三句

古寺や四月八日の鐘を撞く

奈良県生駒郡斑鳩町 松原 春城

性憂ふ菩薩の前で蟻つぶす

神奈川県厚木市 江原 文

八の字に開く校門卒業す

奈良県生駒郡斑鳩町 内田 良平

投句総数 六十一句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

子規はいく賞三句

車窓から帝国ホテル春めきぬ

愛知県豊橋市 田中 茜

ひとひらの桜ボンネットバスゆく

愛知県春日井市 杉浦 恵美子

明治までしだれてゆくか糸桜

愛知県犬山市 有本 仁政

特選三句

馬酔木咲きバスも電車も子らの声

愛知県丹羽郡扶桑町 松原 継彦

花も世も映し続けし入鹿池

愛知県日進市 土谷 三津子

交番は巡回中や燕来る

愛知県名古屋市 加島 照子

投句総数 八十四句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

子規庵（東京都台東区）

休庵中のため投句なし

第五十回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選二句

猿島を遠くに眺め春の空

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

照りつける三笠甲板風涼し

東京都世田谷区 井戸 夏生

投句総数 五十一句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

ワタクシもキミも素粒子冬銀河

広島県尾道市 村上 恭子

空も山も街行く人も春の色

岐阜県岐阜市 柴田 恭雨

この海の大和を想う花吹雪

埼玉県さいたま市 大澤 俊介

投句総数 四十六句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

漱石のうたた寝さます春の猫

埼玉県鴻巣市 畠中 章紀

猫塚へ雨風運ぶ桜かな

沖縄県那覇市 仲吉 由香

猫の恋そろそろ種をまこうかな

東京都豊島区 木下 風民

投句総数 五十二句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

薰風の城に迎える誕生日

東京都文京区 遠山 麻央

北方へ桜前線たどる旅

東京都文京区 遠山 茂

寒い日の音が消えたる鶴ヶ城

福島県いわき市 大平 なな

投句総数 二十句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

東松山市（埼玉県東松山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

日に透けてさくらんぼうの芯は種

埼玉県川越市 吉野 敬子

葉ざくらやトースト軽く焼上がり

埼玉県東松山市 大井 正行

寒の水ふくみ投薬二種二錠

埼玉県東松山市 新井 基文

投句総数 四十八句

開函日 令和五年四月三十日

第五十回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

俳句のまちあらかわ賞

白梅やあなたの横で爪を切る

東京都荒川区 山本 博章

特選三句

あと二匹小鉢の底の螢烏賊

東京都荒川区 町田 美幸

カピバラのうつらうつらや春の風

東京都荒川区 谷井 千絵

啓蟄の雨裏山は静かなり

埼玉県春日部市 池田 洋子

投句総数 三十二句

開函日 令和五年四月三十日